

# 警務彙報

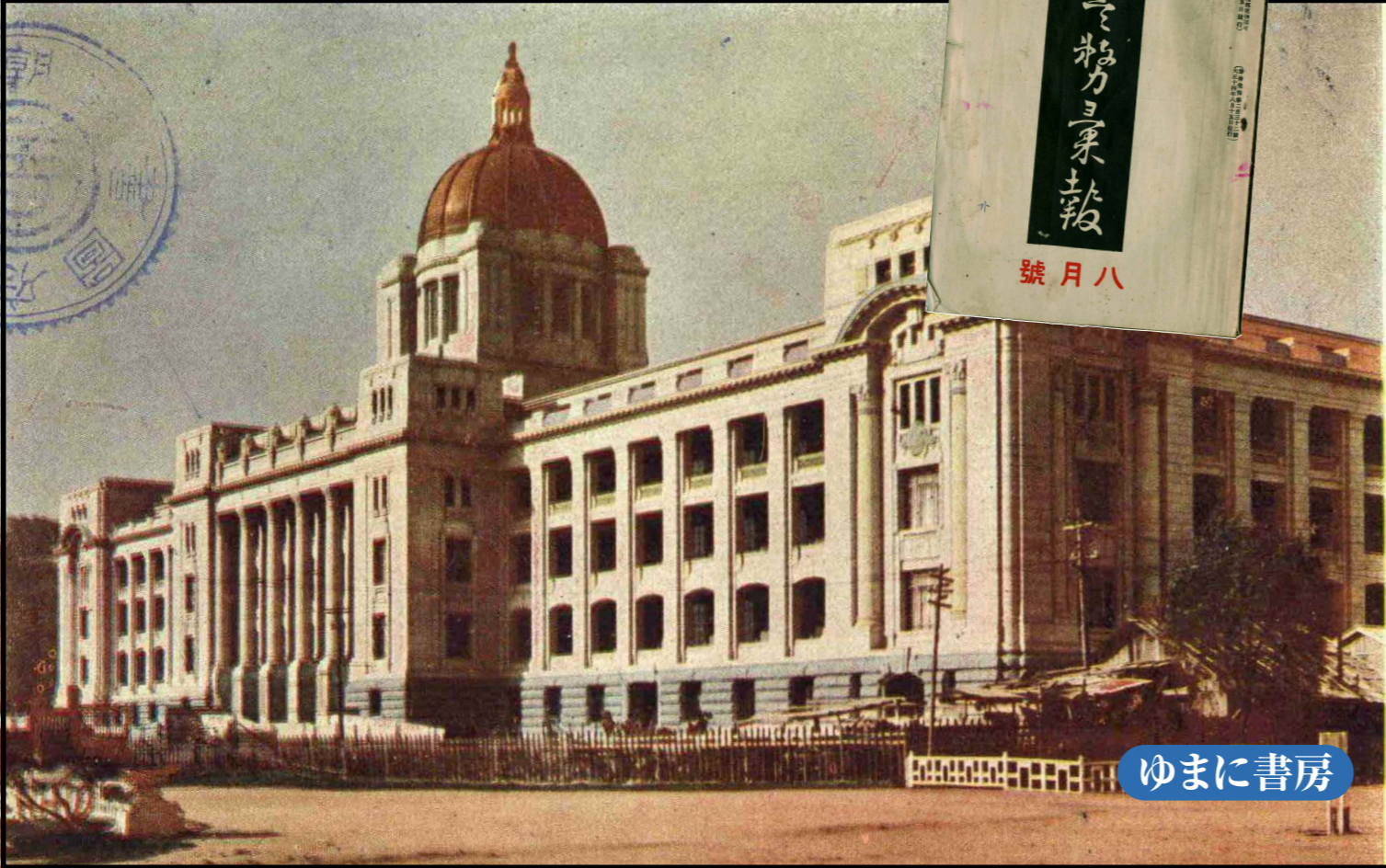
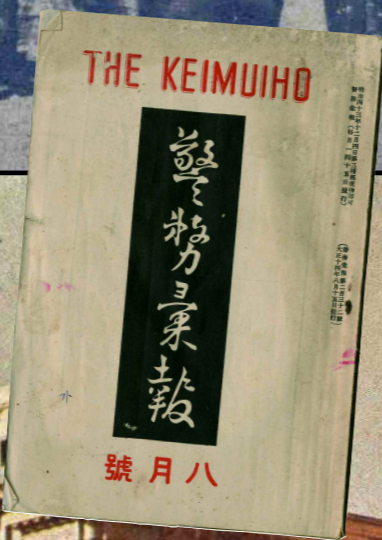
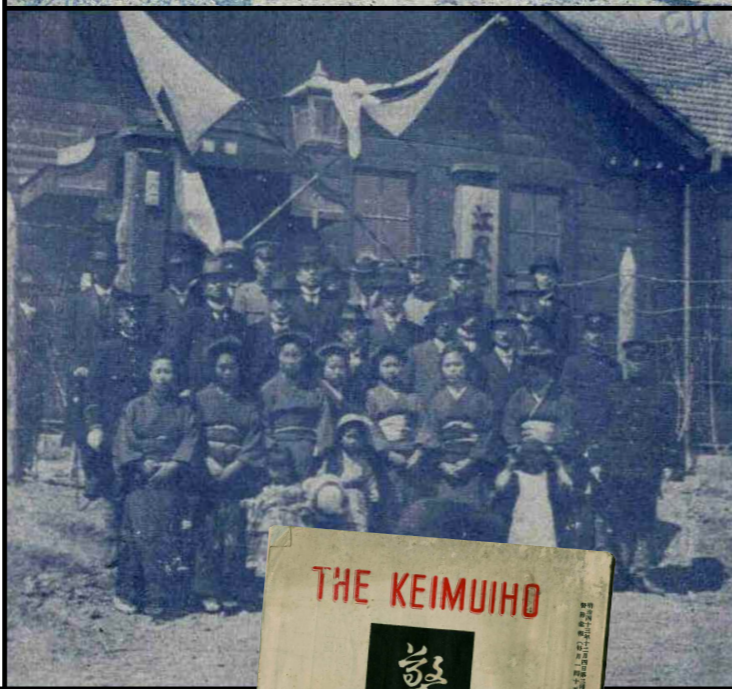
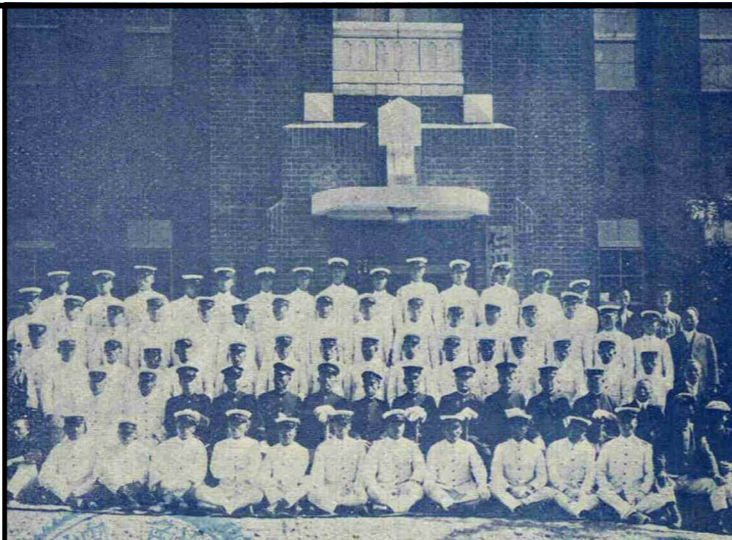
## 全16巻

▼監修・編集・解題

▲松田利彦

国際日本文化研究センター教授・副所長

朝鮮の保護国期から植民地期末期まで刊行された『警務彙報』（『警察月報』、『警務月報』を含む）の目次すべてと重要記事を復刻。  
朝鮮植民地統治の実際を担った警察活動の全貌。



ゆまに書房

# 警務彙報

【監修・編集・解題】松田利彦 国際日本文化研究センター教授・副所長

## 全16巻

■全16巻揃定価：本体320,000円＋税

A5判上製・カバー装 ISBN978-4-8433-6462-8 C3321

●第1回配本 全6巻 揃定価：本体120,000円＋税 ISBN978-4-8433-6463-5 C3321 2023年4月刊行予定

警務彙報 第1巻 目次篇 1	1908年～1925年／解題	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6464-2
警務彙報 第2巻 目次篇 2	1926年～1944年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6465-9
警務彙報 第3巻 重要記事篇 1	1908年～1911年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6466-6
警務彙報 第4巻 重要記事篇 2	1912年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6467-3
警務彙報 第5巻 重要記事篇 3	1913年～1914年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6468-0
警務彙報 第6巻 重要記事篇 4	1915年～1916年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6469-7

●第2回配本 全6巻 揃定価：本体120,000円＋税 ISBN978-4-8433-6470-3 C3321 2023年9月刊行予定

警務彙報 第7巻 重要記事篇 5	1917年～1918年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6471-0
警務彙報 第8巻 重要記事篇 6	1919年～1921年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6472-7
警務彙報 第9巻 重要記事篇 7	1922年～1923年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6473-4
警務彙報 第10巻 重要記事篇 8	1924年～1925年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6474-1
警務彙報 第11巻 重要記事篇 9	1926年～1928年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6475-8
警務彙報 第12巻 重要記事篇 10	1929年～1935年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6476-5

●第3回配本 全4巻 揃定価：本体80,000円＋税 ISBN978-4-8433-6477-2 C3321 2024年1月刊行予定

警務彙報 第13巻 重要記事篇 11	1936年～1937年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6478-9
警務彙報 第14巻 重要記事篇 12	1938年～1939年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6479-6
警務彙報 第15巻 重要記事篇 13	1940年～1941年	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6480-2
警務彙報 第16巻 重要記事篇 14	1942年～1944年／執筆者索引／記事索引	定価：本体20,000円＋税	ISBN978-4-8433-6481-9

関連企画のご案内  
朝鮮総督府及所属官署職員録  
【監修】鄭晉錫【編集】韓國教會史文獻研究院 全33巻・別巻1  
朝鮮総督府成立の1910年から1943年まで、総督府や公的機関で勤務した人々の位階、勲等、功級、俸給などを記載。特に34年にわたる間の主要役職者の異動が載っており、人員や組織の動きを逐一追うことができる貴重文献。 ●揃定価：本体574,000円＋税

## 「自力更生彙報」

—朝鮮総督府農業政策史料— 全6巻  
【監修・解説】板垣竜太  
昭和3年3月創刊、昭和16年1月終刊の全88号を復刻。自力更生運動を進める目的として発行され、日本の朝鮮統治における施策が具体的に記された貴重資料。 ●揃定価：本体110,000円＋税

## 南洋庁公報

【監修】今泉裕美子【編集】辻原万規彦 全25巻・別巻2  
1922年、旧ドイツ領であった南洋諸島を委任統治するため設置された南洋庁の公報。1943年まで全572号を数える。台湾・朝鮮総督府や樺太庁と並び植民地統治の一翼を担った南洋庁の基幹資料。別巻に総目次を収録。 ●揃定価：本体412,000円＋税

## 海洋政策研究所史料集成

—南方進出・国家総力戦関係— 全4巻  
【監修・解題】小磯隆広  
日米開戦の直前、海軍関係者が南方進出・国家総力戦を構想した、海洋政策研究所。公的機関で確認できない同研究所の資料を収録し、その全貌を明らかにする。 ●揃定価：本体80,000円＋税

表紙図版：(上) 仁川署新築落成式（『警務彙報』第222号より）／(中) 熙川警察署（『警務彙報』第217号より）／(下) 総督府新庁舎（『警務彙報』第238号より）

ゆまに書房 YUMANI SHOBOU  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL .03 (5296) 0491  
FAX.03 (5296) 0493  
http://www.yumani.co.jp/  
e-mail eigyou@yumani.co.jp



●特におすすめしたい方 日本近代史、アジア史、植民地史研究者ほか研究機関、大学図書館・公共図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

ご注文書

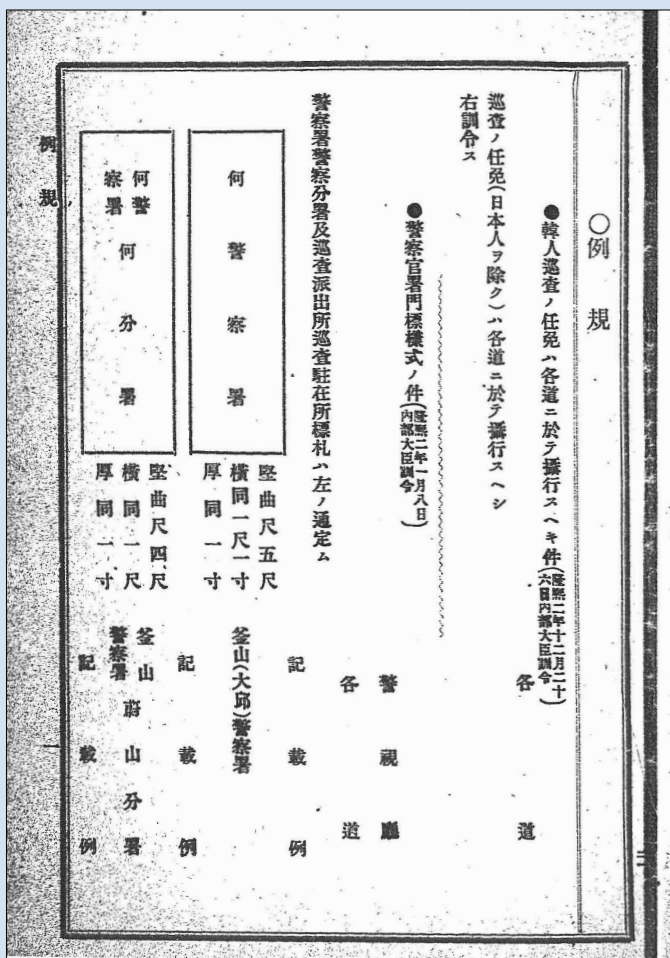
警務彙報 全16巻  
 第1回・全6巻  第2回・全6巻  第3回・全4巻  
 揃定価：本体320,000円＋税 ISBN978-4-8433-6462-8 C3321 セット

お名前  
ご住所  
TEL ( )

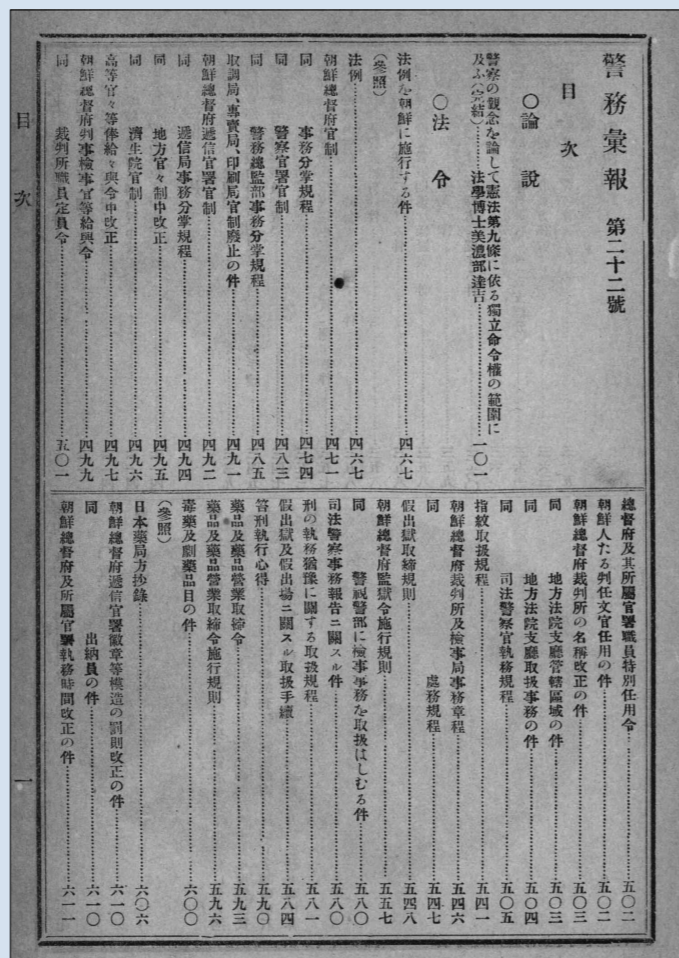
取扱店

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

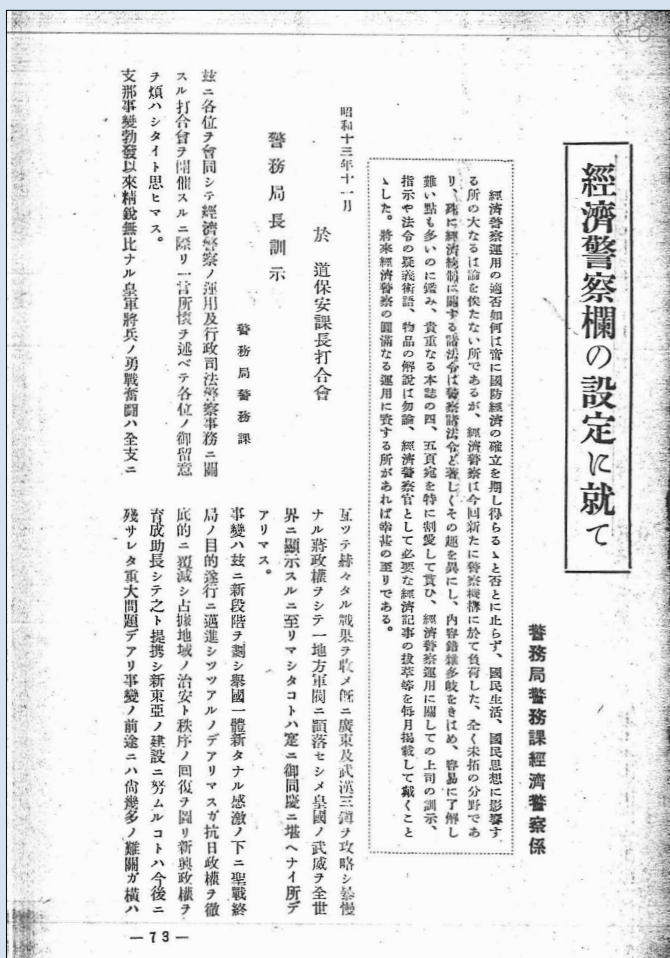




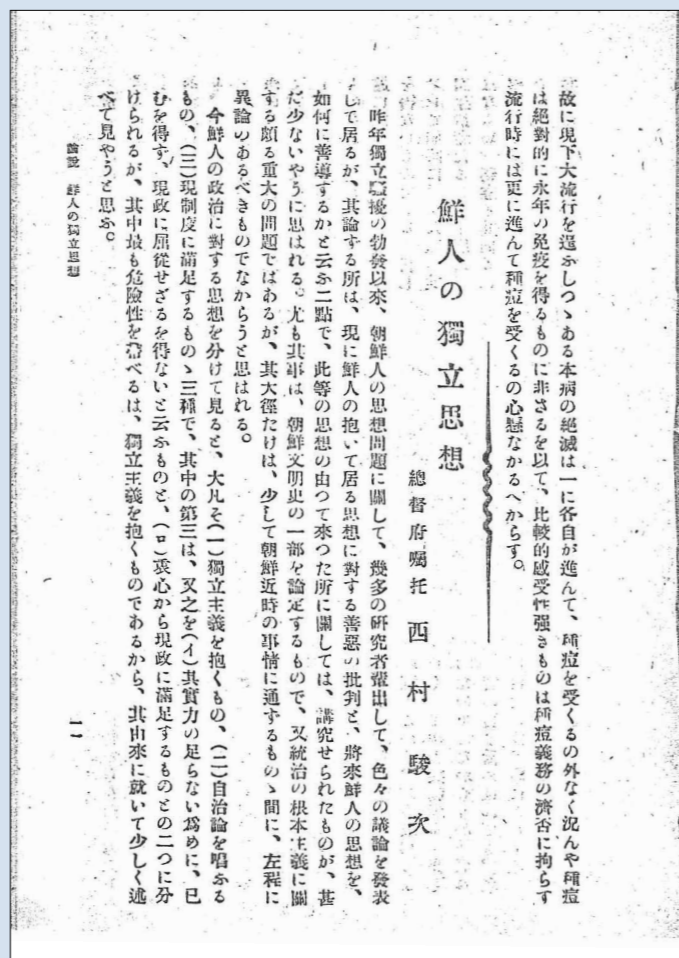
▲『警務月報』第1号(1908年8月)「例規」



▲『警務彙報』第22号(1912年4月)「目次」

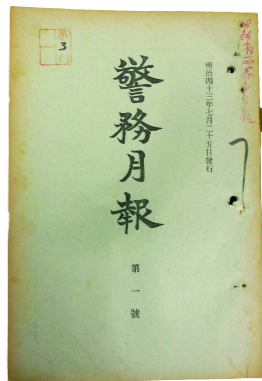


▲『警務彙報』第393号(1939年1月)「經濟警察欄の設定に就て」



▲『警務彙報』第180号(1920年5月)「鮮人の獨立思想」

# 監修の言葉



## 松田利彦

日本の朝鮮統治において治安維持は最重要課題だった。日本は、朝鮮人の義兵闘争を鎮圧して「韓国併合」(一九一〇年)を果たしたものの、一九一九年には朝鮮全土で三・一運動が起こるなど、常に朝鮮人の独立運動に注意しつづける必要があったのである。それを現場で担ったのが警察である。

朝鮮警察がどのような治安対象に関心を払っているのか——それを生々しく伝えてくれる資料が、『警務彙報』である。一九〇八年九月に『警察月報』の名で創刊され、併合を前後して『警務月報』『警務彙報』と改称された。

『警務彙報』は、当初、法令や例規、通牒を末端警察官に伝達する執務資料としての性格が強かった。しかし、三・一運動後、憲兵警察制度が普通警察制度に改編されると、『警務彙報』も誌面を刷新し、総督府警察官同士の交流のための親睦誌としての性格ももつようになった。同時に、誌面には、一九二〇年代の抗日独立運動の活発化・多様化、「警察の民衆化、民衆の警察化」キャンペーンの隆盛など「文化政治」期特有の状況も反映されている。日中戦争期になると、朝鮮警察は、時局座談会の実施(一九三七年)、経済警察の新設(一九三八年)など、総力戦体制構築の一端も担うことになり、『警務彙報』はそのための知識を警察官に修得させる役割を果たした。

植民地朝鮮において警察はさまざまな業務にたずさわった。その警察と盛衰をもにした『警務彙報』には、したがって、植民地統治政策の変遷を映しだした多くの記事が載っている。本資料集の刊行によって、この雑誌が今後の植民地朝鮮研究にさらに活用されることを願ってやまない。

(国際日本文化研究センター教授・副所長)

## 収録記事の一例

- 『警務彙報』第22号(1912年4月) ・例規(朝鮮総督府公文書規程/巡查、巡查補療治料、給助及吊祭料給与取扱手続/警察職員配置表改正ノ件/朝鮮総督府裁判所及検事局定員表/警察官管内旅費規程中汽車汽船賃二関スル件/鮮人巡查退隠料及一時金支給二関スル件/管内赴任旅費支給方ノ件/在郷陸軍軍人採用二関スル件/朝鮮総督府旅費規則第十条規定判任官以上ノ者ノ勤続期間二関スル件/狩猟規則二関スル疑義ノ件/休暇規程中疑義解釈二関スル件/官有財産二関スル件/地方法院支庁予審事件取扱ノ件/(中略)/改正法令取扱方二就テ/巡查駐在所渡切経費ノ件)
- 『警務彙報』第237号(1926年1月) 朝鮮警察の使命(千葉了)/警察教育の實際に就いて(今村邦典・忠清北道警察部長) ・支部通信【【黄海道通信】黄海道巡查部長任用試験/黄海道鮮人巡查採用試験/【江原道通信】故塩原巡查部長追悼祭典/【慶南通信】鎮海密陽両署の消防演習と大災警防/固城昌寧釜山各署の火災予防宣伝/河東署の犯罪捜査演習/梁山署の武道特別稽古/密陽署の非常召集演習/固城署駐在所に於て郵便集配事務引受け/【咸北通信】高等警察課に員並家族慰安会/秋季実弾射撃会と家族慰安会/西水羅武道場落成式並武道大会開催/訓戒鎮署の演武場落成式/【咸南通信】咸南警察部咸興警察部聯合射撃/咸鏡南道巡查部長考試筆記試験/新興警察署に於て表彰されたる模範巡查/【全南通信】部長試験施行/【忠南通信】刑事別科生教養)
- 『警務彙報』第460号(1944年11月) 巻頭言(阿部泉・本府衛生課長)/臨時道警察部長会議に於ける総督訓示(昭和19年9月)/臨時道警察部長会議に於ける警務局長演示(昭和19年9月26日)/防空消防の完璧を期せ(渡邊京城消防署長)/造言蜚語(白扇子・京城本町警察署)/特別警察隊の開設に就て(三輪松次郎・京畿道特別警察隊長・道警視)/検閲室より覗いた演劇の種々相(大井幸七・警務局保安課)/更生園患者の勤労作業(小鹿島更生園)/警察功績章授与 ・警務局各課通信【【經濟警察課通信】課長出張/課員増強/敵前線躍起綜合移動展の後援/重要工場、鉱山、事業場防衛強化懇談会の開催/【警備課通信】殉職警察職員招魂祭執行/警防団並に防空監視隊関係の表彰/防空映画指導/警防座談会の開催/【衛生課通信】防空防毒救護訓練の実施/内地渡航労務者の消毒/本府職員第二回健康診断の実施 ・地方通信